



平成 27 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社雑貨屋ブルドッグ
代表者名 代表取締役 久岡 卓司
(JASDAQ・コード3331)
問合せ先 取締役 細見 克行
(TEL. 06-6260-5505)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第 24 条の 4 の 4 第 1 項に基づき、本日、東海財務局に提出いたしました平成 27 年 8 月期の内部統制報告書に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載しましたので、以下の通りお知らせ致します。

記

1. 開示すべき不備の内容

当社は、平成 27 年 8 月期の決算にあたり、同年 8 月に経理責任者の退職申出を受領したことで、①「適切な経理・決算業務のために必要かつ十分な知識を有した社内の人材が不足すること」、②「適切な相互チェック・承認体制を整備するに足る人員が不足すること」を認識致しました。同年 9 月に前述の事象が実現し、加えて事業年度末以後に経理部社員 1 名が退職が発生したことで、決算・財務報告プロセスにおける内部統制の不備が発生いたしました。

当社は、当該事象による財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断致しました。

2. 事業年度末日までに是正できなかった理由

当事業年度末までに是正されなかった理由は、発生の認識が期末日直前であり、決算処理を適切に遂行するための能力及び経験を有した社内の人材を補充することができず、外部の専門家に依頼することで会計処理を適切に実施致しましたが、適切な社内の人材により財務報告の体制を構築することができなかったためであります。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、決算・財務報告プロセスの見直し、経理部門への人材教育を強化するとともに、外部の専門家等の活用も含め、相互チェック、承認体制の強化を図ることにより、翌事業年度においては、適切な内部統制を整備し運用する方針であります。

4. 財務諸表に与える影響

外部の専門家に依頼することで決算処理を適切にする体制を整備しており、また監査人より指摘を受けた重要な修正はすべて財務諸表に反映しており、これによる財務諸表に及ぼす影響はありません。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上